

病 防 第 2 5 号
令和4年5月27日

各関係機関の長 様
(農政担当)

岐阜県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記

令和4年度病害虫発生予察注意報第2号
(カキ 炭疽病)

令和4年度病害虫発生予察注意報第2号

令和4年5月27日
岐 阜 県

作 物 名 カキ

病害虫名 カキ炭疽病

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 6月上旬以降

3 発生程度 多い

4 予報の根拠

- (1) 岐阜・西濃地域のカキ定点ほ場における令和3年9月下旬の調査では、発病果率が4.4% (平年0.9%) と高かった。また、令和4年2月に実施した定点ほ場以外における調査では、13ほ場のうち12ほ場で罹病枝が認められた (図1)。
- (2) 岐阜・西濃地域のカキ定点ほ場における令和4年5月中旬の調査では、新梢における炭疽病の発病が4ほ場のうち3ほ場で認められた (図2)。
- (3) 名古屋地方気象台の1か月予報 (5月26日発表) では、気温が平年並~高く、降水量が平年並~多いと予想されており、感染に好適な条件となる恐れがある。また、強風を伴う雨があった場合には、発生が増加する恐れがある。

5 防除上の注意事項

- (1) 新梢の発病を徹底して防ぐことが重要であるため、6月上旬に防除を確実に行う。
- (2) ほ場内をよく観察して、発病枝や発病果は見つけ次第除去し、ほ場外に持ち出す。
- (3) 耐性菌の増加を抑制するため、同一薬剤（特にQoI剤、及びベンゾイミダゾール系）の連用を避ける。農薬は、最新の登録情報（<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム）を参照し、収穫前日数に注意しながら適正に使用する。



図1 冬期における罹病枝の病斑

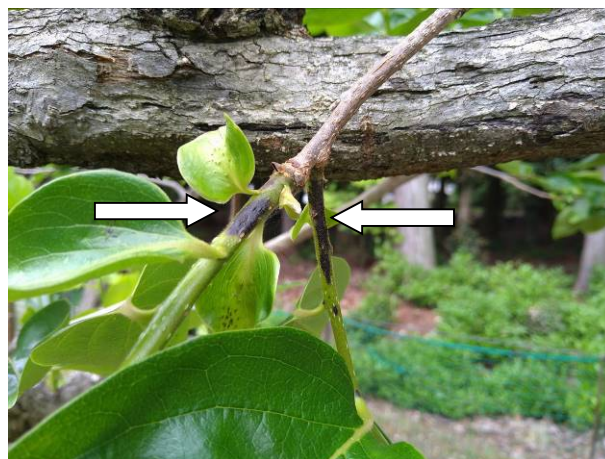


図2 新梢（枝）の病斑